

2009私情協研修レポート  
「ポータルサイトを用いた学生支援」

1. 班：E
2. グループ番号：4

### 3. 討議テーマ

ポータルサイトを用いた学生支援

### 4. 要旨

現在、学生への連絡手段として「ポータルサイト」が用いられている大学が多い。しかしながら、既存のポータルサイトは主に教職員からの連絡手段の一つとして使われており、「情報提供型」ポータルサイトと言える。

これにさらなる機能を加え、学生からの働きかけを可能とすることにより、ポータルサイトを「学生参加型」にすることができる。それにより学生と大学の距離が縮まり、学生の大学生活がより充実したものになれば、大学全体の活性化へと繋げられるのではないだろうか。

### 5. テーマ選定理由

各校から、ICT技術導入・利用の現状や、学生支援の際に直面している問題点について、以下のような意見が出された。

- ・休講情報等、学内（特に学生へ）の情報周知に統一性がとれない。
- ・出席管理の問題
- ・学生カルテ等の活用
- ・ペーパーで行っている業務を、データ化したいが、うまく進まない。

上記の問題点について、各校で展開されている「ポータルサイト」を用いて改善できないか、さらに最近問題になっている学生の不適応をいかに食い止めるかという観点から、「ポータルサイトを用いた学生支援」について検討することとした。

### 6. 論点

- ・ポータルサイトは何のために設けているのか？
- ・ポータルサイトを情報資源としてどう活用するか？どう学生支援につなげるか？

### 7. 討議結果

- ①既存のポータルサイトにはどのようなコンテンツが掲載されているか、各校での事例を出し合った。「告知・伝言」、「学事日程表」、「時間割表」、「休講情報」、「試験案内」、「アルバイト・ボランティア情報」、「奨学金関係」、「就職情報」等  
→いずれも、大学から学生への「情報提供型ポータルサイト」
- ②現状のポータルサイトに、新しい機能をプラスできないか検討することとした。
- ③そこで、プラスしてみたい機能をディスカッションし、以下のような案が出された。  
「カウンセリング相談受付」、「授業のオンデマンド配信」、「証明書発行予約」、「学生活動（部活）の届出」、「OB/OG 参加型コミュニティ（SNS）」、「交通機関情報（学内

バス)」、「食堂の空席情報」

→学生や学内の関係者が主体的にサービスへアクセスする「参加型」コンテンツ

④ポータルサイトにアクセスしたくなるような工夫について検討した。

(例)

- ・アクセス1, 000人目などキリ番を取得した学生に賞品が当たる
- ・アクセスした回数に応じて、コピーカードや食券等のポイントと交換できる 等

## 8. 結論

既存のポータルサイトの機能に+αを加えた「学生参加型」のポータルサイトの活用により、学生と大学の距離が縮まり、学生の大学生活が充実する。このことが、大学全体の活性化につながると期待できる。

## 9. アクションプラン：

- カウンセリング相談受付・・・・・・・・・・ カウンセリング相談窓口ページを設け、悩みを抱えた学生が大学へ行かずとも、画面だけで相談の予約を取ることが出来るようにする。もし、そのまま予約日時に行かなかったとしても、職員からはその学生のアプローチで個人を把握出来るため（ログイン情報）、その後何らかのフォローをするきっかけとなり得る。
- 授業のオンデマンド配信・・・・・・・・・・ 入院や忌引きなどの、やむを得ない理由により欠席した授業を、ポータルサイトを通じて受けることにより、授業の遅れを取り戻せるようにする。また、留学生など一部の学生に対してのサービス（字幕による日本語学習）としても有効となる。
- 証明書発行予約・・・・・・・・・・・・・・・・ 発行機で出力出来ない場合が多い英文証明書などの予約や、学割証の残りの枚数の確認が出来るようにする。
- 学生活動（部活）の届け出・・・・・・・・・・ 部活動など学生活動の届出書類（名簿など）を、ポータルサイトを通じて追加や変更を簡易に行えるようにする。これは紙利用削減にも繋がる。
- SNS（OB/OG 参加型コミュニティ）・・・・ 卒業後も在学時のポータルと同じID・パスワードを設定することで、新規に申請する必要なく気軽にSNSを利用できるようにする。このSNSを卒業生と教職員、また在學生との意見交換の場として活用する。これが大学と卒業生とのコミュニケーションツールの一つとなり、教職員や在學生にとっても情報源となり得る。
- 交通機関情報（学内バス）・・・・・・・・・・ 煩雑な学内バスなどの交通機関の時刻表確認を、ポータルサイトを通して一元的に確認できるようにする。
- 食堂の空席情報・・・・・・・・・・・・・・・・ 食堂の空席状況をリアルタイムで確認出来るようにするため、食堂内を映すWEBカメラを設置する。この映像を配信することで混雑回避へ繋げる。

以上